



2月3日、「第26回なかやま雪中カルタ大会」が町民グラウンドで開催され、500名を超える町内の小学生とその保護者らが雪上の熱戦に参加しました。

冬の恒例となったこの行事は「カルタを通してふるさとを理解し、愛する心を育む」ことを目的に、青少年育成町民会議や子ども育成会などが協力して行っているものです。

町内14地区が3ブロックに分かれ、読み手が3つの札を読み上げると、合図で一斉にスタート。

当日は青空が広がりましたが、時おりカルタが舞い上がるほどの強風。それにもめげず、読み札が読み



「九左工門家昔をしのぶ大庄屋」などの3つの札が読み上げられると、カルタとりがスタート！



上げられると元気いっぱい、いっせいに走り出し、白い息を吐きながら懸命に札を探す子どもたち。目的の札を見つけると歓声をあげ、雪の上を元気いっぱい走り回っていました。

中山町オリジナル『なかやまカルタ』好評販売中です！



なかやま雪中カルタ大会で使われている「なかやまカルタ」の販売を行っています。

昭和60年に作成された「なかやまカルタ」には、ふるさと中山町の歴史や伝統行事、子どもたちに知ってほしいマナーが書かれており、郷土愛と健全な心が子どもたちの心に育ってほしいとの願いが込められています。

この機会にぜひお買い求めいただき、ご家庭でカルタを楽しんでみてはいかがでしょうか。

●中央公民館窓口、ゆ・ら・ら、とでお買い求めいただけます。 価格1,000円(税込)

※お問い合わせ先 教育課生涯学習G ☎662-2235



町内の女性の力を結集 女性まつり



●体験コーナー 毛糸を使ったエコタワシ作り(写真左:消費生活研究会)、風呂敷講習会(写真右:商工会女性部)、つまみ細工でパッチンドめ(髪留め)作り(キモノを楽しむ会)といった様々な体験コーナーが設けられました。

2月11日、町女性団体連絡協議会主催の女性まつりが中央公民館で開催され、それぞれの分野で活躍する町内女性の力を結集させました。来場した方々は思い思いに各コーナーを巡り、イベントを楽しんでいました。

●販売コーナー
入り口付近では「Aやまがた豊田支店生産学級による漬物・野菜・しみ餅・果物などの農産物や加工品等の販売コーナーが設置され、



●展示コーナー 各団体と町内の女性による生け花や寄せ植え、パッチワークなどの作品を展示。

試食をしながら面白い物を楽しむ人の姿が多く見られました。また、「キモノを楽しむ会」はつまみ細工・作り帯・編み物など自慢の作品を販売しました。

●包丁研ぎコーナー
持ち込まれた包丁の切れ味がよみがえり大変よろこばれました。

●食生活改善推進員による料理展示コーナー
缶詰を活用し工夫を凝らした料理に、訪れた人は興味深げに見入っていました。



●ステージ発表 大ホールでは町内の女性グループ等による太極拳・踊り・民謡などの様々なステージ発表が行われ、それぞれが活動の成果を披露しました(写真はさわやかひまわり会による、るんるん3B体操)。



●「楽しく学ぶ消費者講座」中山町消費生活専門相談員の熊谷祐子氏を講師に、劇団「やまのべ」の寸劇と合わせて消費者トラブルについて楽しく学びました。



●講演会「昭和のくらし博物館からみえること」昭和のくらし博物館館長の小泉和子氏を講師に衣食住や家事、食卓の様子、裁縫の様子を具体的にスライドを見ながら紹介。なつかしい昭和のくらしの話に聴衆は興味深そうに熱心に聞き入っていました。

●試食コーナー
ステージ発表が終わってお腹がすいてくるお昼時には、地産地消をテーマに地元産の米で作ったおにぎりが来館者に配られました。